

一 般 質 問 通 告 書

平成28年3月定例会（No. 1）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 方 相 手 方
1 野村広志	1 本市農業を取り巻く環境について	(1) 環太平洋パートナーシップ（TPP）協定の合意による本市農業への影響について ① TPPが与える本市農業への影響について、どのように考えているか。 ② TPP発効に向け、本市農業の採るべき備えについて、どのように考えているか。 ③ TPP発効をにらんだ本市の支援策の在り方について、考え方を問う。 ④ TPP発効により得るものがあるのか。また、その可能性をどのように考えているか。	市 長
		(2) 輸出に係るトップセールスにおいて、得られた成果と今後の在り方について ① シアトルへのトップセールスの結果として、どのような成果が得られたのか。 ② 今後のトップセールスの在り方をどう考えているか。 ③ お茶の消費拡大に向け、どのように取り組んでいく考えか。	市 長
		(3) 国際バルク戦略港湾の指定を受けた志布志港が、本市農業に与える影響と可能性について ① 志布志港における海外輸出の現状と課題について問う。 ② 農産物輸出の現状と今後の可能性をどのように捉えているか。	市 長
2 小辻一海	1 環境行政について	(1) 生物多様性地域戦略策定の進捗状況について問う。	市 長
		(2) 生物多様性の保全のためのボランティアに対する活動費支援策について問う。	市 長
		(3) メリケントキンソウ撲滅対策について ① 具体的な駆除対策と実施状況について問う。 ② 市民、学校、事業所への啓発と、取り組みに対する協力依頼について問う。	市 長 教育委員長
3 市ヶ谷 孝	1 ふるさと納税について	(1) ふるさと納税の現状をどのように捉え、今後の展望をどう考えているか。	市 長
	2 移住定住政策について	(1) 人口減少対策について ① 地域定着につながる婚活事業の在り方と、今後の取り組みについて問う。 ② 地域コミュニティへの参加意識を高めるため、様々な職場における入社式及び研修などの合同実施を導入する考えはないか。	市 長
4 八代 誠	1 危険廃屋解体撤去事業について	(1) 補助対象となる基準（対象物件）を見直しする考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年3月定例会（No. 2）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5丸山 一	1 環境行政について	(1) コアジサシの営巣地をつくり、守る考えはないか。	市 長
	2 防災行政について	(1) 平成27年6月定例会において、災害に強い街づくりについて質問したが、その後の対応等について問う。	市 長
6小野広嗣	1 港を中心としたまちづくりについて	(1) 平成28年度当初予算案において、国際バルク戦略港湾の整備実現に向けた、県による港湾計画変更のための予算4,600万円が計上されている。国際バルク戦略港湾は、今後の志布志市をさらに発展させる起爆剤となり、港を中心としたまちづくりに寄与することは間違いない。早期事業化に向けた今後の展望を示せ。 (2) これまで本市は、海外に姉妹都市、友好都市を持たなかったが、港湾を核とした国際交流都市への飛躍を図る上でも、海外友好都市提携を行い、積極的に国際交流を推進すべきではないか。	市 長
	2 国土強靱化地域計画について	(1) 「国土強靱化基本法」では、その第4条において地方公共団体の責務を明記するとともに、その第13条において、都道府県または市町村は「国土強靱化地域計画」を定めることが出来ると明記されている。本市では、いつ頃を目途にこの「国土強靱化地域計画」を策定しようと考えているのか。	市 長
	3 緊急輸送道路の空洞化対策について	(1) 災害に強い、安全で安心なまちづくりが求められている中で、最近、緊急輸送道路の下に空洞がどのくらいあるのかを調査する自治体がふえている。災害時の安全を確保するためにも、緊急輸送道路の空洞化対策を検討すべきではないか。	市 長
	4 教育行政について	(1) 施政方針では、確かな学力の育成の一環として、土曜学習教室(志学教室)や夏休み学習教室等で学校外での教育環境の充実を図るとあるが、これまでの成果と課題、今後の展望を示せ。	教育委員長
7東 宏二	1 政治姿勢について	(1) 一般質問における答弁後の対応について問う。	市 長
	2 安心、安全の街づくりについて	(1) 防犯カメラの設置について、現状と今後の取り組みの考えを問う。	市 長
	3 公共事業について	(1) 都城・志布志道路や東九州道路建設事業での地元業者の工事実績と今後の見通しを問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年3月定例会（No. 3）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 方 相 手
8 小園 義行	1 政治姿勢について	(1) 庁舎等在り方研究委員会の取り組み状況を問う。 (2) アンケート結果を受けて、議論の進め方の方向性はどうか。 (3) 市長の退職金について、どう検討したのか。	市 長 市 長 市 長
	2 駅舎等整備総合計画について	(1) 基本計画の提案にいたるまでの議論の進め方について問う。 (2) (株)まちづくり公社への支援をどのように考えているか。	市 長 市 長
	3 ふるさと納税について	(1) 来年度20億円からの寄付を想定し事業が計画されているが、考え方を問う。	市 長
	4 学校教育について	(1) 給食費の多子世帯への支援をどう検討されたか。	市 長 教育委員長
9 平野 栄作	1 防災行政について	(1) これまで数年に亘り、地震・津波避難訓練を実施してきたが、津波災害に特化しており、市民の意識が全体的に高まっているとは感じられない。これまで実施してきた成果や反省点を踏まえ、今後訓練や防災政策への取り組みをどのように実施していく考えか。 ① 自主防災組織の拡充と活動の活性化について ② 市民の意識高揚策について ③ 市民を中心とした避難訓練の実施について ④ 災害対策本部設置に伴う、現地対策本部設置の考え方と各種機関との連絡体制について	市 長
10 鶴迫 京子	1 市内体育施設について	(1) 現況と問題点をどのように捉えているか具体的に示せ。 (2) 今後の施設内のトイレ整備に対する考えは。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 有明地区公民館施設整備について	(1) 公民館内のトイレ改修の今後の見込みと考え方について問う。	市 長 教育委員長
	3 障がい福祉について	(1) 重症心身障害児・者の療育と支援体制について、本市の現状と今後の取り組みについて問う。	市 長 教育委員長
	4 教育行政について	(1) 県立志布志高等学校の存続のための支援策について見解を問う。また、今後の取り組みについてどのように考えているか。	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年6月定例会（No. 1）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村 広志	1 防災対策・消防行政について	<p>(1) 4月に発生した熊本地震における被害の状況を踏まえると、本市の地域防災計画への影響や、見直し等の対応については喫緊の課題であると考え。震源地であった益城町においては、想定されていた避難計画や災害時計画については、その多くが機能しなかったと聞いている。本市は南海トラフ等の地震の備えと併せて、津波対策など課題は多いと思うが、今後の取り組みについてどのように考えているのか。</p> <p>① 隣県で発生した、熊本地震で本市はどのような被災地支援の対応が取られたか。</p> <p>② 熊本地震を受けて、地域防災計画の見直し等については、どのように考えているのか。</p> <p>③ 自主防災組織については、意識付けを含め強化していかねばならないが、どのように考えているのか。</p> <p>(2) 現在消防団は、7月3日に開催予定の志布志市操法大会に向けて、各分団訓練を積んでいるが、本市としてこの大会をどのように捉えているか。また、今後の支援の在り方について問う。</p>	市 長
	2 小野 広嗣	1 防災対策について	<p>(1) 南海トラフを震源とする巨大地震の発生が予測される中、今回の熊本地震から何を学び、わがまちの防災対策にどう生かすべきかは、今を生きるうえでの重要なテーマである。本市では今回の巨大地震をどのように受け止め、災害から住民の生命と財産を守るのか。</p>
	2 住宅政策について	<p>(1) 本市の住宅政策では、住宅マスタープラン・ストック総合活用計画により、建替・改善・維持管理事業を進め、若者から高齢者まで誰もが安全に暮らせる豊かな居住環境を実現するとあるが、今後は、新たな課題に対応した住宅政策を計画的に推進する必要があるのではないか。</p>	市 長
	3 青少年の社会参画について	<p>(1) 青少年が市政やまちづくりに参加する機会を増やし、社会への参加意識を高めるとともに、青少年の視点と意見を市政に反映させることによる施策の充実を図るべきではないか。</p>	市 長 教育委員長
	4 食品ロス対策について	<p>(1) 日本の食料自給率は約4割にとどまるが、一方で、食べられるのに捨てられる食品ロスは年間約642万トンと推計されており、すでに先進的な自治体では、様々な食品ロス対策が行われている。本市においても、食品ロス削減のための取り組みを進めるべきではないか。</p>	市 長 教育委員長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年6月定例会（No. 2）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 方 相 手
3 毛 野 了	1 産業振興と企業誘致の取り組みについて	(1) 本市が、企業誘致を目的に購入・造成した遊休地を活用し、産業振興を図る考えはないか。 (2) 臨海工業団地の第2工区以降の分譲・譲渡の計画について問う。	市 長 市 長
	2 消防分団詰所の整備について	(1) 帖5区消防分団詰所の出入口を改善する考えはないか。	市 長
4 青 山 浩 二	1 体育施設について	(1) 有明野球場周辺に屋内練習場を建設する考えはないか。 (2) 有明野球場のスコアボードを電光掲示板にする考えはないか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 市民サービスについて	(1) 住民票の写しなどの証明書が全国のコンビニ等で取得できるサービスを実施する考えはないか。	市 長
5 西 江 園 明	1 災害時のまちづくりの考え方について	(1) 津波被害を想定した時、志布志町の高台に広場の確保をすべきではないか。 (2) 先般の新聞でも多くの自治体で緊急的に利用可能な用地の準備不足があると報道があった。本市は現在の状況で十分と考えるのか。 (3) 香月地区のふるさとづくり委員会は、設立当初の課題・要望として、高台に多目的施設を整備することや、港内の工業団地と体育館周辺を結ぶ橋りょう整備の二つの要望をあげたが、現在までの経緯と今後の考え方について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 職員の処分の在り方について	(1) 始末書を提出した職員は、最近5年間において、年度ごとに何人ぐらいいるのか。 (2) 平成26年度決算が不認定となったが、この事案の経緯について問う。 (3) 始末書を提出したことは、職員の履歴に記録されるのか。 (4) 処分の在り方について、今後の見解を問う。	市 長 市 長 市 長 市 長
	3 運動公園やしおかぜ公園一帯の管理状況について	(1) サッカーフェスティバルに来ていた県外のお客さんから、会場の管理について厳しい指摘があったが、このことに対する見解について問う。 (2) 運動公園一帯の管理区分について問う。 (3) この一帯の松の木が害虫のため枯れており、薬剤散布を行ったが、今までの経緯について問う。 (4) 施設管理の今後の対策について問う。 (5) 昨年の議会で、指定管理者制度の見直しをするとの答弁だったが、その後の取り組み状況について問う。	市 長 教育委員長 市 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年6月定例会（No. 3）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 方 相 手
6 八代 誠	1 市単独の補助事業における事務事業評価の在り方について	(1) マネジメントシートによる事務事業評価の、今までの経緯と改善状況について問う。	市 長
		(2) 外部評価を廃止した経緯と、その後の評価内容の検証について問う。	市 長
		(3) 評価検証後の補助基準の在り方をどのように改善しているのか。また、評価後に廃止もしくは新規となった事業はあるのか。	市 長
7 持留 忠義	1 茶業振興について	(1) 過去にも一般質問をしてきたが、課題に対してその後どのような対策を講じてきたのか問う。	市 長
		(2) これまでのトップセールスの効果について問う。	市 長
		(3) 今後の新たな振興策について、どのように考えているか問う。	市 長
	2 有明町開発農協跡地について	(1) これまでの経緯について問う。 (2) 既存施設の有効な利活用方法は考えていないのか問う。	市 長 市 長
	3 市営住宅について	(1) 山重・野神地区にそれぞれ新たに市営住宅を建設できないか問う。	市 長
8 鶴迫 京子	1 交通行政について	(1) 高齢者運転免許証自主返納支援制度について、これまでの推移と現状は。また、現在の特典を増やす方向での内容の見直しは考えられないか。	市 長
		(2) 未来ある地域の宝である子ども達の命を守るために、交通量の多い志布志小学校・香月小学校・安楽小学校周辺の通学路エリアをゾーン30に指定できないか。	市 長 教育委員長
9 小園 義行	1 政治姿勢について	(1) アンケート調査に4つの項目を追加するとの答弁であった。その後の庁舎等在り方研究委員会の取り組み状況について問う。	市 長
		(2) 5月31日の南日本新聞に憲法アンケート結果が掲載されている。その内容について問う。	市 長
	2 商業振興について	(1) 小規模企業振興基本法に基づき、本市の諸条件に応じた施策を策定する考えはないか。	市 長
	3 福祉行政について	(1) 敬老祝金を75歳以上全員に支給するように見直す考えはないか。	市 長
	4 ひとり親家庭の支援策について	(1) 婚姻歴のないひとり親家庭がどれくらいあるのか。	市 長
		(2) 寡婦（夫）控除を受けられないひとり親家庭に対して、みなし適用をして経済的負担を軽減する考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年9月定例会（No. 1）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手	方
1 野村広志	1 有害鳥獣対策について	(1) 近年その数が著しく増加し、生息地の範囲が拡大している有害鳥獣被害について、ここ数年間の被害状況と被害金額の推移をどのように捉えているのか問う。 (2) 市民からの被害の報告を受け、その対応に至るまでの経緯を示せ。また、現在の対応で十分と考えているのか問う。 (3) 現在までの有害鳥獣捕獲事業による実績で、十分な効果を発揮していると考えているのか問う。 (4) 生活環境の保全及び農林水産業被害の未然防止策について、現状を踏まえ、今後どのように進めていく考えなのか問う。	市	長
	2 廃棄物処理施設について	(1) 現在本市では、曾於南部厚生事務組合と曾於北部衛生処理組合の、広域連携による処理施設を持っているが、いずれも経年による老朽化が著しい。今後の長寿命化並びに適正管理の在り方について見解を問う。	市	長
	3 リサイクル・ごみ分別について	(1) 徹底したごみの分別・再資源化は、高齢化によるごみ出し困難者の増加を招いているのではないかと。市民意識の啓発及び向上に向けてどのような取り組みがなされているのか。また、ごみ出し困難者への支援は効果的に機能しているのか問う。	市	長
2 小野広嗣	1 地方創生について	(1) 地方創生の実現に向け、全国の自治体で地方創生戦略競争が始まっている。地方創生の有益な施策として、移住政策をどう推進し成功させるかがカギの一つであると考えますが、本市の現状と今後の取り組みについて問う。	市	長
	2 公共施設等の適正な管理について	(1) 志布志市まち・ひと・しごと ころざし創生戦略には、人口規模や財政状況を踏まえた公共施設やインフラ等の管理方針の強化に努めるとあるが、公共施設等の今後の在り方について、具体的にどのように考えているのか。 (2) 志布志市まち・ひと・しごと ころざし創生戦略では、公共施設最適化プロジェクトを推進するにあたり、PPP/PFIの活用を視野に入れているが、具体的な方向性は見えているのか。	市	長
	3 クルーズ船の誘致について	(1) 自治体等でクルーズ船の誘致強化に向けて、港湾施設を整備する動きが活発化している。大型クルーズ船が地方に寄港できれば、その経済効果は大きい。志布志港への船舶ツアーの誘致について、どのように考えているのか。	市	長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年9月定例会（No. 2）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2小野広嗣	4 行政機関のペーパーレス化の推進について	(1) ペーパーレス化の推進に向けて、ICT機器を使い、行政運営の効率化を進めている自治体が増えている。タブレット機器の活用等、本市でも導入していく価値があると思うが、見解を問う。	市 長 教育委員長
3平野栄作	1 防犯対策について	(1) 市内では、複数の団体が青パト隊として地域の防犯活動を積極的に推進している。児童の登下校及び高齢者の見守りの観点から、市内各地で活動が展開できる体制づくりが望まれると思うが、以下の点について問う。 ① 申請事務のサポートはできないか。 ② 物品の貸与は考えられないか。 ③ 犯罪や不審者の発生情報の提供（メール等）はできないか。 ④ 定期的な研修実施の取り組みはできないか。	市 長
	2 公用車の貸与について	(1) 市の車両を外郭団体へ貸与しているが、以下の点について問う。 ① 日常管理・定期管理の在り方と修理等経費負担の状況は。 ② 更新計画の策定状況は。 ③ 故障等で稼働できない場合の代替車の手配は。	市 長
	3 公共施設の改修について	(1) 開田の里公園は、建設後相当の期間が経過し、歩道については当初カラー舗装であったが、現在はその形跡も無くなっている。また、従来芝であった部分もほとんどが雑草となっているが、部分的にでも改修が必要ではないか。	市 長 教育委員長
4八代 誠	1 教育行政について	(1) 学力向上日本一に対する取り組みのうち、「志学教室」及び「夏休み学習教室」の成果と今後の課題について問う。 (2) 本市の「総合教育会議」における協議内容について。 ① 今後のタブレットパソコン導入の在り方について問う。 ② 小中一貫教育に対する考え方と、今後の進め方について問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 志布志港フェリー旅客待合所周辺の環境について	(1) 2018年の3月及び6月に、「フェリーさんふらわあ」2隻の新造が決定した。そのことを受けて、県が所管する待合所周辺の緑地・若浜運動公園・県道の、今後の管理について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年9月定例会（No. 3）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5市ヶ谷 孝	1 選挙について	(1) 「18歳以上」へと選挙権年齢が引き下げられて以降、初の国政選挙となった第24回参議院議員通常選挙、2016年鹿児島県知事選挙が7月に行われた。本市における投票率の年代別分析と、対象年齢引き下げによる対象者への今後の対応について問う。	市 長 教育委員長
	2 福祉政策について	(1) 本市における生活保護の在り方について。 ① 本市の生活保護の現状について問う。 ② 保護申請に伴う手続きと、申請状況について問う。 ③ 様々な段階があると思うが、それぞれの生活状況の見守りや、就業指導等についてどのように対応されているのか問う。	市 長
6小園 義行	1 政治姿勢について	(1) 庁舎等在り方研究委員会で、この間具体的に研究した内容と、その結果を問う。 (2) 志布志事件の控訴審判決が確定し、志布志事件の裁判は刑事・民事共に終結した。どのように受け止めているか。	市 長 市 長 教育委員長
	2 介護保険について	(1) 8月から補足給付の収入算定が強化された。影響はどうか。	市 長
	3 福祉行政について	(1) 志布志支所に生活保護面接相談員を配置している理由は何か。	市 長
	4 学校教育について	(1) 就学援助制度の周知方法等について、実施時期を問う。 (2) 就学援助制度による入学準備金を入学前に支給できるように見直す考えはないか。	教育委員長 市 長 教育委員長
7丸山 一	1 有害鳥獣被害対策について	(1) 本市の有害鳥獣による被害は、増加傾向にあるが、猟友会をはじめとする捕獲従事者は減少傾向にある。市内各地区の対応と、今後の後継者確保をどのように考えているのか問う。	市 長
	2 工業団地造成について	(1) 第4工区の造成の進め方について、第4工区より川下にある水田への水利については、関係者との協議が必要と思われるが、どのように進めていくのか問う。	市 長
	3 防災行政について	(1) 今年3月定例会で質問をした避難タワーについては、予算措置を含め検討するとの答弁だったが、その後の進捗について問う。 (2) 一丁田地区排水対策は、当初予算に計上されていた。今現在、着工されていないが、豪雨時期に間に合うような施工が望ましいと思うが、着工時期について問う。	市 長 市 長

一般質問通告書

平成28年9月定例会（No. 4）

質問者	件名	要旨	質問の相手方
8小辻一海	1 道路行政について	(1) 県道塗木大隅線改良工事の進捗状況と、今後の見通しについて問う。 (2) 国道220号線外岩戸ガソリンスタンド前の歩道と、信号機の設置について問う。	市長 市長
	2 行政改革大綱に基づく職員業務の在り方について	(1) 業務量調査が職員の配置等、円滑な事務執行のために適正に生かされているか。 (2) 職員による自治会使送について問う。	市長 教育委員長 市長 教育委員長
	3 鳥獣被害対策について	(1) 鳥獣被害の現状と対策について問う。 (2) 市の支援策と猟友会の現状、協力体制について問う。	市長 市長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年12月定例会（No. 1）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村広志	1 雇用の創出について	<p>(1) 平成27年度に、人口減少に歯止めをかけ、将来に向けて魅力ある地域づくりを目指す、志布志市まち・ひと・しごと ころざし創生戦略が取りまとめられた。</p> <p>その中で、基本目標及びプロジェクトにおいて「志布志にしごとをつくり、安心して働けるようにする～若年層の地元回帰希望をかなえる体制整備～」が基本目標のひとつに掲げられている。</p> <p>そこで、現在の若年層が抱える課題が本プロジェクトで補われているのか。また、1年を経過して、創生戦略の目標達成に向けた進捗状況を問う。</p>	市 長
	2 教育行政について	<p>(1) 施政方針では、「地域とともにある学校づくり」を目指し、コミュニティ・スクールの導入を進めるとしている。更に、小中一貫教育に向けた研究への取り組みも表明されているが、このことは、総合教育会議の中で、どのように議論がなされたか。併せて、今後の在り方について問う。</p>	市 長 教育委員長
2 平野栄作	1 防災対策について	<p>(1) 近年、我が国では地震を始め台風等による災害が多発傾向にあり、本県でも数年ぶりに上陸した台風16号の影響により多大な被害が発生した。</p> <p>地震においても、熊本・鳥取・福島沖地震が相次いで発生し、近い将来、南海トラフ地震も予想される中、災害に対する自助・共助といった意識付けを更に高める必要があると感じるため、以下の点について問う。</p> <p>① 自治会活動メニューに防災活動を盛り込む考えはないか。</p> <p>② 盛岡市では「シェイクアウト」を導入し、全市民が防災意識を持つ試みを展開しているが、本市でも導入すべきではないか。</p> <p>③ 災害情報収集・情報発信・避難所管理等を円滑に行うために、どのような対策を考えているか。</p> <p>④ 秋田県や岩手県では、公共施設の案内板に避難場所及び海拔の表示があり、地域外の人にも分かりやすいと感じたが、今後このような表示板等を設置する考えはないか。</p> <p>⑤ 地震への備えとして、家屋内の物品転倒防止や、ガラス等の飛散防止等の対策があるが、これらを広く普及するための対策は考えられないか。</p>	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年12月定例会（No. 2）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 平野 栄作	2 移住定住対策について	(1) 農村部においては、人口の減少が進んでおり、更に新たな住宅用地も確保できないことから、今後一層拍車がかかることが推測される。 一方、集落内を見渡すと空き地や廃屋等が点在しており、一括して整備することで、新たな住宅用地としての活用が期待できると思われるが、市が窓口となって取りまとめを行い、住宅用地として整備する考えはないか。	市 長
		(2) 移住定住策の一環として、働く場を創設するという意味合いから、集落営農等の組織設置を後押しする体制づくりを行う考えはないか。	市 長
3 小野 広嗣	1 無電柱化について	(1) 電柱は、通行空間の安全性・快適性の確保、良好な景観の形成、道路の防災機能の向上などによって、大きな阻害要因となっている。まずは志布志支所を中心にして、新町通り・上町通りの無電柱化を図る考えはないか。	市 長
	2 インフラ老朽化対策について	(1) JR博多駅前の大規模な道路陥没は大きな衝撃を与えた。限られた資金でどのようにインフラを維持・管理するかが大きな課題となってきている中、本市において悲惨な事故を起こさないために、適切な公共施設の維持管理に今後どのように取り組むのか。	市 長
		(2) 3月定例会において、市が選定している緊急輸送道路の空洞化対策について質問した。「600万円程度で調査事業ができるとすれば、計画は立てたい」との答弁であったが、その後の検討状況を問う。	市 長
	3 高齢者の交通事故防止対策について	(1) 高齢化の進展で、高齢者の交通事故が増加していく中、市としてもこれまで以上に安全対策、防止対策に取り組まねばならないと思うが、現状をどのように認識し、対策を講じようとしているのか。	市 長
4 いじめ問題について	(1) いじめが発生した後に対処することも大切だが、いじめを起こさせない社会づくりに努めることは大人の責任である。「いじめ防止対策推進法」の施行から3年余り経過したが、本市の取り組みについて問う。	市 長 教育委員長	

一 般 質 問 通 告 書

平成28年12月定例会（No. 3）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 西江園 明	1 鳥獣被害対策について	(1) 「アナグマ」の実態と被害額について問う。 (2) 捕獲による助成金の支出はあるのか。 (3) 今後の対策と、アナグマの捕獲と処分に対する助成金の在り方について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 教育現場のトイレの洋式化について	(1) 小中学校の洋式トイレの普及率を問う。 (2) 最近の改修率を問う。 (3) 今後の改修計画を問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	3 学校給食について	(1) 給食費の未納の状況について問う。 (2) 野菜の価格高騰により給食の中止をした自治体があったが、見解を問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	4 市営住宅入居者の保証人について	(1) 昨年一般質問があったが、その後の進捗状況を問う。	市 長
5 青山浩二	1 農業振興について	(1) 農業従事者や次世代の後継者、新規就農者への支援の在り方について問う。 (2) 6次産業化への現状と、今後の方策について問う。 (3) 中学生の修学旅行を利活用して、現地の郷土会等と連携し、旅行先で地元産品を販売する考えはないか。	市 長 市 長 市 長 教育委員長
	2 ICT（情報通信技術）の活用推進について	(1) ICT（情報通信技術）を積極的に活用した、新たな行政運営に対する考え方を問う。	市 長
6 八代 誠	1 本市が取り組んでいる交通施策の現状と今後について	(1) 高齢化率がピークとなる2025年を前に、現在の交通施策を再検討し、新公共交通システムを構築していく考えはないか。 ① 福祉タクシー運行事業について ② 地方公共交通対策事業について ③ 志布志中学校通学バス運行事業について	市 長 教育委員長
	2 東九州自動車道について	(1) （仮称）夏井インターチェンジから県境までの区間に、上下線相互利用できるパーキングエリア（海側）の設置を要望する考えはないか。	市 長
7 小園義行	1 政治姿勢について	(1) 庁舎の在り方については、将来を見据え、広域的な視点で研究を重ね、次のステップに進むと答弁しているが、この間の取り組みを問う。	市 長
	2 子育て支援について	(1) 妊婦健康診査における多胎児妊娠の診査回数等の現状はどうか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成28年12月定例会（No. 4）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7 小園 義行	3 高齢者福祉について	(1) 福祉タクシーの運行について ① 利用者の待ち時間を短くする等の見直しはできないか。 ② 松山地区における利用者の利便性を考え、曾於市の思いやりタクシーの利用等について、曾於市と協議し利便を図る考えはないか。	市 長
	4 学校教育について	(1) 小中一貫教育についての考え方を問う。	市 長 教育委員長
8 市ヶ谷 孝	1 福祉行政について	(1) 福祉タクシー運行事業について ① 予算規模、利用者数など、事業効果の現状についての認識を示せ。 ② 担当部署内、または関係団体や委託先との協議の中で、どの様な意見や課題が上がっているか。 ③ 今後の社会情勢の動向をどの様に捉え、この事業の継続を図っていくか。市長の考え方を問う。	市 長
9 鶴迫 京子	1 地域振興策について	(1) 高校の存在は、地域活性化に重要な役割を果たすと思う。本市も地域の高校存続のため、支援策が本年度からスタートしたが、地域振興策の一環としてさらに拡充する考えはないか。	市 長 教育委員長
	2 公共交通行政について	(1) 過去に（平成24年12月、平成25年6月）交通弱者対策など公共交通の在り方について一般質問してきたが、それらに対するこれまでの進捗状況と、今後の方向性について問う。	市 長
		(2) 6月定例会で、高齢者運転免許証自主返納支援制度について一般質問したが、見直しは進んでいるか。	市 長
	3 保健行政について	(1) 母子検診において、乳児（生後3～4か月）検診、1歳6か月児検診、3歳児検診を、現在の集団検診から個別検診へ見直す考えはないか。	市 長
(2) ひとり親家庭医療費助成の窓口申請を、子ども医療費助成と同様に簡素化できないか。		市 長	
4 環境行政について	(1) 本市においても、高齢者をはじめ各種団体を対象とした環境学習会が実施されているが、小中学校と連携し、児童・生徒を対象に環境教育を実施する考えはないか。	市 長 教育委員長	